

様式13

会派視察研修計画書

令和 5年11月 9日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党
代表者名 大竹敦子

下記のとおり、視察（研修）を計画したので届け出ます。

参加議員	大竹敦子	
日時	令和 5年11月16日（木）～令和 5年11月17日（金）	
視察先	福島県福島市、千葉県市川市	
研修内容	福島市「災害時におけるペット同伴避難所」について 市川市「小型家電リサイクルを通じた障がい者就労支援」について	
日程	別紙のとおり	
交通手段	<u>公共交通機関利用</u> 乗降車駅名（ 碧南中央駅 ）	自家用車利用____台 所有者名（ ）

（議会事務局記入）

旅費の額	(内 訳)
円	

会派視察研修報告書

令和 6年 1月17日

碧南市議会議長 様

会派名 公明党
代表者名 大竹敦子

下記のとおり、視察（研修）を実施したので報告します。

なお、参加者議員1人分の視察研修成果報告書を添付いたします。

参加議員	大竹敦子
日 時	令和 5年11月16日(木)～ 令和 5年11月17日(金)
視 察 先	福島県福島市、千葉県市川市
研 修 内 容	福島市「災害時におけるペット同伴避難所について」 市川市「小型家電のリサイクルを活用した障がい者就労支援について」
視察先面会者 又は講師名等	福島市 萩原太郎市議会議長、 議会事務局議事調査課 渡邊康太郎係長 危機管理室 鈴木潤係長 小野伊央里副主査 健康福祉部保健所衛生課動物愛護係 東野一成課長補佐 市川市 稲葉健二市議会議長、議会事務局議事課渡辺孝文主幹、 福祉部障がい者支援課 加藤俊哉課長 樋口京子主幹、 山内健司副主幹 環境部清掃事業課 大塚康平主任主事 福田正副主幹 社会福祉法人市川レンコンの会 船瀬悟副理事長 前島隆之第4レンコンの家施設長 尾中孝次サービス管理責任者
備 考	

※ 相手方から收受した資料の写しを添付してください。

視察研修成果報告書

令和 6年 1月17日

議員氏名 大竹敦子

視察（研修）に参加したので、下記のとおり成果を報告します。

記

1 期間 令和 5年11月16日（木）～令和 5年11月17日（金）

2 視察先 福島県福島市 千葉県市川市

3 視察の種類 先進地視察

4 視察の成果等

福島市 「災害時におけるペット同伴避難所について」

災害の状況

【洪水災害】

令和元年台風19号 床上浸水：689件、床下浸水：594件
避難者：最大約5,000名

【地震災害】

平成23年東日本大震災 死者：15名 避難者：最大8,495人
(震度6弱) 住宅被害 全壊：744件 大規模半壊：638件
半壊及び一部損壊：18,908件

令和3年福島県沖地震 避難者数：32人
(震度6弱) 住宅被害 全壊：66件 大規模半壊：62件
半壊及び一部損壊：5,301件

令和4年福島県沖地震 避難者数：63人
(震度6弱) 住宅被害 全壊：60件 大規模半壊：99件
半壊及び一部損壊：6,655件

導入の経緯

熊本市の指定避難所39か所全ての避難所では、「ペット同行避難」が可能となっていた。その形態は、駐輪場や軒下であり、家族の一員としてペットと暮らしていた家族には、安心して避難できる状況ではなかった。令和元年の台風19号の時、ペットを連れて避難者が殆ど無く、避難することができないケースが多くあった。

ペット同伴避難所の設置は、多様性のひとつと捉え、避難のしづらさを取り除く意味から、ペット同伴避難所専用の避難所の必要性に鑑み、市内の浸水想定区域ではない場所で敷地内に広大な駐車場もあり車中泊が可能な場所に一か所整備した。

場所の選定には、近隣住民への丁寧な説明をした上で、了解を得た。

事業概要及び経費

テント（飼い主1人+ペット） 24張り（2m間隔で設置）

定員を超えた場合は、ペットは体育館内のゲージに、飼い主は別室に避難させる。

初年度（R3年度）の経費 0円

テント … 災害用に備蓄されていたものを使用

ゲージ … 寄付されたものを使用

R4年度（ゲージ・リードフック・フード） 300万

R5年度（前年度からの不足品）22万円

・災害レベル3の発令時に開設。

ペット同伴避難所開設へ向けて

- ① ワークショップの開催
県獣医師会、動物愛護ボランティア会、保健所衛生課、危機管理室が意見交換。
- ② 「災害に備えた飼い犬のしつけ方教室」の開催（17組参加）
ドッグトレーナー 報酬7,000円（年4回実施）
- ③ 「ペット同伴避難所現地視察」の実施 避難に当たっての留意点の確認
- ④ 「人とペットの避難に関するワークショップ」の開催 避難所の運営について
- ⑤ 「ペット同伴避難所避難訓練」の実施 テントの設営
- ⑥ 福岡県獣医師会との協定締結
保健所の2名では不足のため依頼。
避難してきたペットの応急処置、管理指導や公衆衛生
- ⑦ 動物愛護ボランティアの設置（22名）
* 福島市動物愛護ボランティア募集要綱・要領策定
ミルクボランティア、シャンプーボランティア、しつけボランティア等

提言

福島市の「ペット同伴避難所」の導入は、多様性の時代のひとつとして、ペットを家族同様に考える飼い主の気持ちを受け止めた時代にあった施策である。危機管理室の担当者でも、以前のペット動向避難の方法では、ペットとともに避難しようとは思えないと言われてしまうような避難所は改善し、飼い主の避難しづらさを取り除いた、ペットと共に安心して避難できるペット同伴避難所を提供するべきである。

ペット同伴避難所の開設には、色々な面で気を使わなければならない、様々クリアしなければならない問題もあったということがわかった。担当者の導入に向けたご尽力に敬意を表したい。そのような大変な事業であるにもかかわらず、熊本市では、今後も増やしていきたいという思いに、本市における導入の必要性を改めて感じる。本市においても、ペット同伴避難所の設置を進めていただきたい。

市川市 「小型家電リサイクルを通じた障がい者就労支援について」

市川市の障がい者就労支援について

① チャレンジド オフィス いちかわ

市川市では、会計年度職員として一定期間雇用し、一般企業への就労につなぐ。
障がい者雇用率 — 市長部局 2.72% 教育委員会 3.6%

② 市川市障がい者就労支援センター「アクセス」(市川市単独事業)

相談支援、職場を訪問による定着支援及び雇用企業の開拓

③ 障害者就業・生活支援センター「いちされん」(国・県の指定委託事業)

公共機関等職業安定所、行政、福祉施設等との連携で就職活動・定着支援

④ ハローワーク市川

⑤ 自立支援協議会・就労支援部会(市内障がい者就労支援の関係者の協議会)

⑥ 障害福祉サービス事業所

就労移行支援	12事業所	利用者数	194人/月
就労継続支援A型	11事業所	利用者数	170人/月
就労継続支援B型	30事業所	利用者数	504人/月

第4レンコンの家

・社会福祉法人「市川レンコンの会」平成7年ボランティア任意団体として発足。

「第4レンコンの家」就労継続支援B型事業所(定員10名)

*就労継続支援A型事業所(企業との雇用契約有り)

賃金 1,031円×5時間×20日≒10万円/月

*就労継続支援B型事業所(企業とは契約を結ばず、作業の成果のみ)

工賃 平均14,572円/月

小型家電などの回収、解体・分別作業によって工賃をアップ(現状の約2倍)

小型家電リサイクル通じた障がい者就労支援

事業開始までの経緯

市川市清掃協同組合より、新潟の福祉施設で小型家電リサイクル事業をやっているとのことで、視察に行き、事業を開始。

問題点

ハードディスクに入っている個人情報処理

→ハードディスクの破砕機を設置(市による)し、データ漏洩対策を行う。

回収方法

市が公共施設に設置した回収ボックス(市内21か所)から回収

↓

市川市清掃協同組合⇒障がい者就労支施設⇒リサイクル
(再資源化施設)

↓

↓

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」
等小型家電リサイクル法のリサイクル法の趣旨に則り推進した。

事業の効果

作業に興味を持つ利用者が増加(雇用機会の創出)・技術の向上・工賃のアップ

今後の課題

回収の増量 利用者自ら企業へ回収先の開拓に当たっている。

回収及び各事業所への分配の人員不足の解消(現在は職員が遂行、委託も考慮中)

提言

市川市のこの事業で特記すべきことは、市川市清掃協同組合が、国の小型家電リサイクル法の施行を踏まえて、使用済み小型家電の解体作業を障がい者施設の就労に導するとともに、福祉作業所からの物品の調達促進にもなり、合わせて就労継続支援B型事業所の障がい者の工賃を向上させようとしたことである。

使用済み小型家電の解体作業は、作業所の作業内容としては、興味を引く作業であり、就労の意欲を高める作業であり、誰でもできる作業でもないため、多少は人を選ぶが、1、2カ月従事すれば障害を持っていても可能な作業でもあるとのことである。

碧南市の作業所でも、利用者に対して、少しでも高い工賃を支払えるよう仕事の開拓に取り組まれている。有用資源の再利用化という環境保護に貢献した作業に従事することで、作業に従事する利用者が自分の仕事に誇りを持つことができ、合わせて工賃もほぼ倍増するという使用済み小型家電の解体作業を、ぜひ、市内の就労継続支援B型事業所にも導入をしていくべきと考える。関係部局には、導入に向けて、前向きにご尽力いただきたい。